



































カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している ・管理、処理の方法も徹底している											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・エネルギーの種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している							○						○						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・関連会社の換算ツールを利用し、温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している							○					○	○						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している ・化学物質リスクアセスメント作成			○			○					○	○							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、大きな負の影響を削減するための計画を策定している						○										○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・水の利用状況を把握し、使用量削減に努めている						○													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001(1998年より)を取得して、マネジメントシステムに基づき、実施している			○			○	○					○	○	○	○				
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・ミサワホームグループとして、環境に関する情報を報告し、ミサワホームの環境報告書の一部として情報を開示している												○							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・事務所屋上に太陽光パネルを設置し、利用している ・シン・やまなしパワーの水力発電プランで再生エネルギーを利用している							○						○						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・木材調達方針を策定、公表している ・合法木材供給事業者の認定を受け、非合法木材の利用は一切行わない												○	○	○	○				
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・工場における資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている ・再利用の目標を設定し、計画的に取り組んでいる						○						○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・コンプライアンス宣言をし、取引先との関係について、「対等かつ公正な関係」を維持することとしている																	○		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・コンプライアンス宣言をし、取引先との関係について、「対等かつ公正な関係」を維持することとしている																	○		
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・製品開発における特許侵害調査の実施									○	○									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・社内研修(動画による研修)を行い、情報管理ルール周知徹底を図っている ・外部システムを導入して個人情報管理をしている																		○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	【非該当】鉱物使用なし																		○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・コンプライアンス基本方針に基づき、自社の方針を公表している。 ・利害関係者への周知を行っている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○	○	

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
製品・サービス	28 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策			○									○							
	29 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001の取得・維持継続 ・品質マネジメントシステムに基づく品質管理システムを構築している									○										
	30 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・通常廃棄物となる木材の切削屑を固形・成形し、ペレットして販売している						○						○	○	○	○				
	31 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・木質バイオマスであるペレット燃料の生産・販売を行っている ・薪ストーブを利用した移動式サウナを開発・販売を行っている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・北杜市と「災害時等における協力に関する協定」を締結し、取り組んでいる ・里山再生プロジェクトへの参画				○					○		○	○		○	○			○	
	33 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・年1回、夏休み親子工作Day(近隣小学校との協力による)の実施 ・小学校の会社見学実施				○							○			○	○			○	
	34 【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済										○	○		○	○						
組織体制	35 【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・コンプライアンス宣言を実施し、社員に向けて法令遵守の重要性を周知徹底している																	○		
	36 【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念を明文化している ・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている									○	○								○	
	37 【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・コンプライアンス責任者、担当者を設置 ・内部通報制度の窓口を設置																		○	
	38 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・環境管理責任者を設置 ・コンプライアンス責任者、担当者を設置																		○	
	39 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・統合マネジメントシステムに基づき体制を整備している																		○	
	40 【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・CSR委員会の設立により、委員会活動により取組を進めている																		○	
	41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・ステークホルダーと定期的に対話するテーブルを設け影響を把握している																		○	○
	42 【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・BCP策定 ・防災協定締結、防災訓練実施										○	○		○					○	

